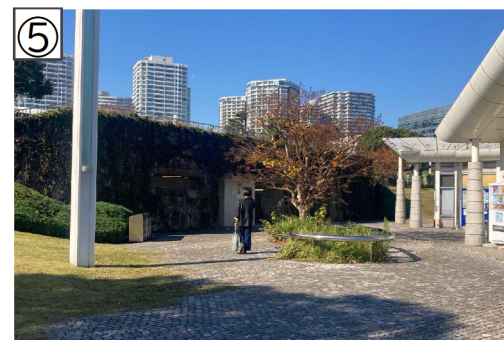
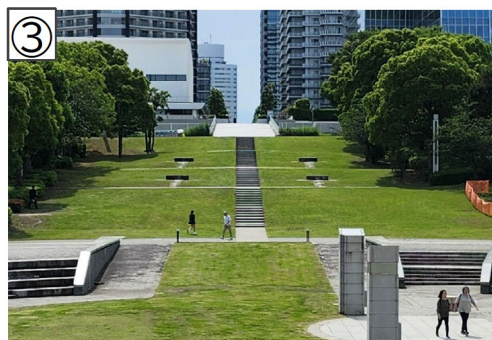


# 3. 改修箇所



# 4. 改修方針(キング軸接続部)

## ■ キング軸周辺整備について

### -- 整備方針・内容 --

#### キング軸接続部

→ みなとへ開く大きなスケール感  
美しい芝生斜面を生かし、芝地はなるべく減らさない

#### ・ビスタの強調

→ 眺望を阻害する下部の樹木伐採。上部は緑の樹木を残す

#### ・いごこちの良い滞留空間創出

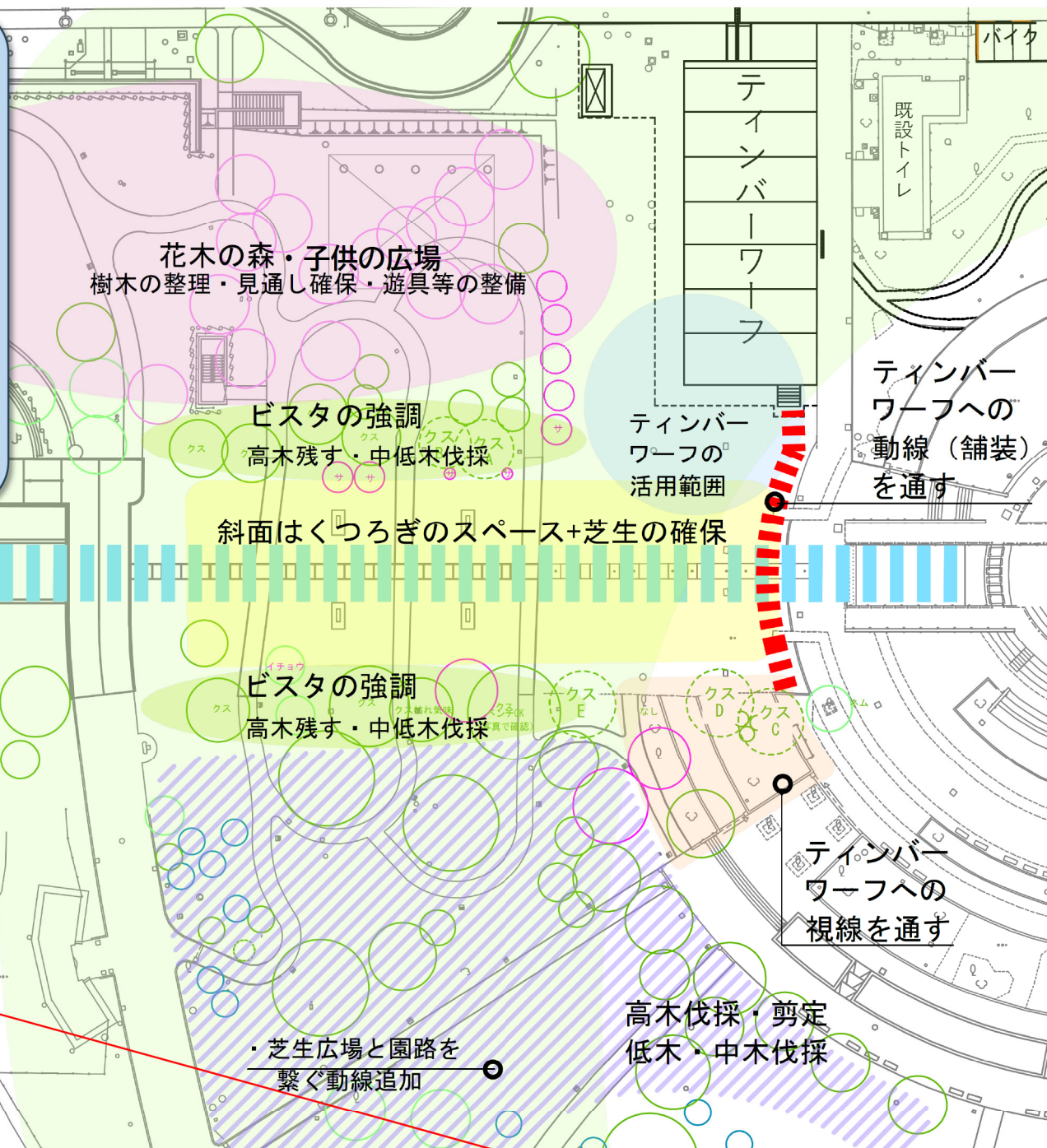
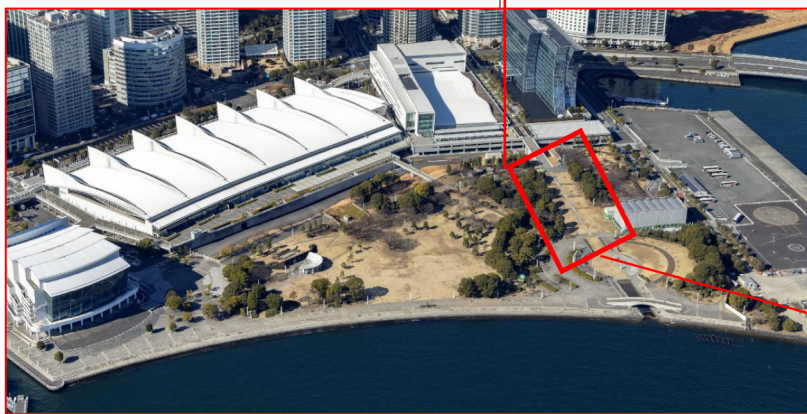
→ 木陰ベンチの整備

#### ・芝生広場からキング軸への誘導

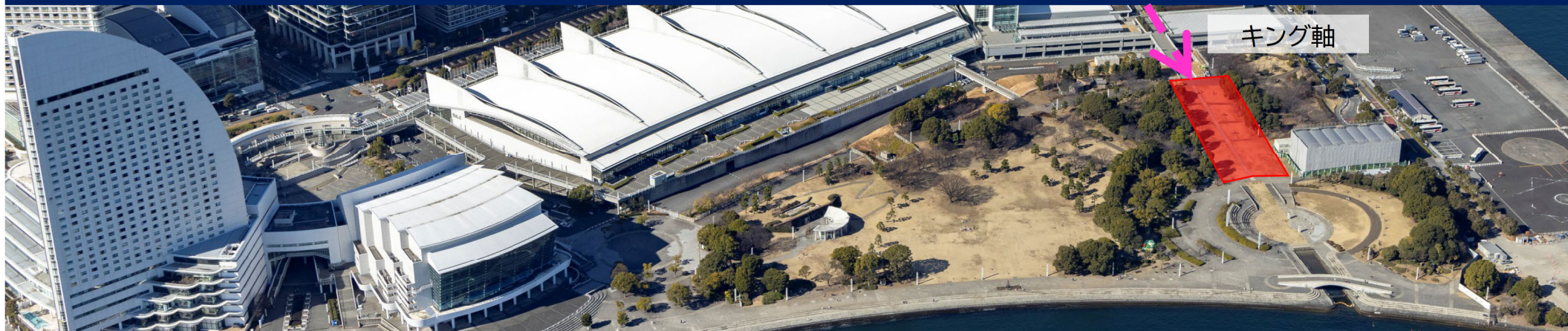
→ 樹木の繁茂による分断感をなくし、視界と動線を確保

### キング軸

キングモール橋



## 4. 改修方針(キング軸接続部)



### ■ キング軸接続部改修

#### 現況

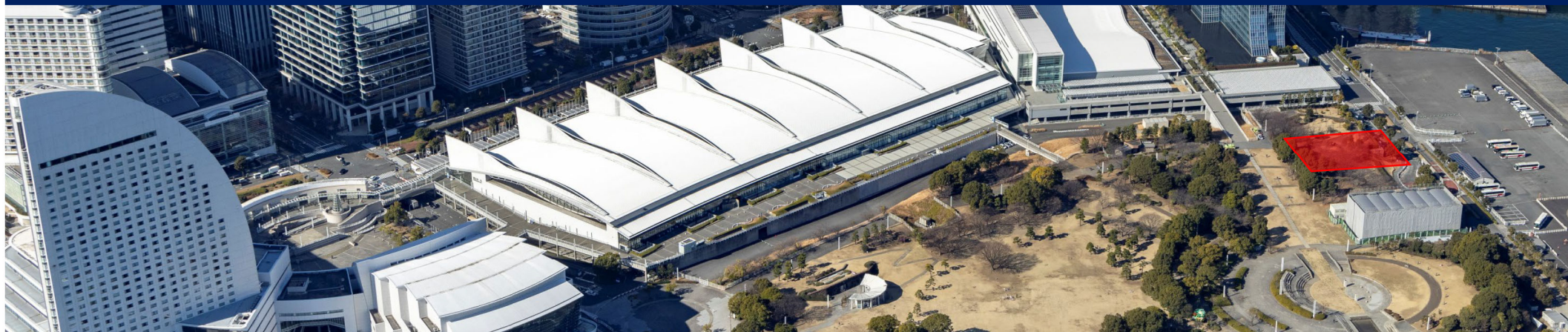
- ・ キング軸との接続部として動線の幅員が狭く、玄関口としての設えが弱い
- ・ 供用から年数が経過しており、成長した樹木が眺望を阻害している
- ・ 芝生斜面の滞留空間が少ない

#### 整備の方向性

- 水際線に誘う動線の確保 階段幅員を拡幅し、軸線として強調する
- 眺望の確保 海へのビスタを通すため、既存景観を生かしつつ、高木は剪定、中低木の撤去等を実施する
- 滞留空間の創出 海を眺めるゆったりしたベンチを設置する  
暑熱対策として木陰を創出し、ベンチを設置する



## 4. 改修方針(遊具の整備)



### ■ 遊具の整備

#### 現況

- ・ 親子連れの来訪を促す魅力的なコンテンツや体験の不足
- ・ 親子連れが長く滞在できる空間となっていない
- ・ 臨港パークの北西側は、パークの端であることや、周囲が樹木等で囲まれていること等により他エリアとの分断感がある



#### 整備の方向性

- 子供から大人まで憩える空間の創出  
遊具やベンチを整備することで、親子連れで楽しめる空間を創出する
- 誰もが楽しめる空間の創出  
緑地内に多様なエリアを整備することで、幅広い世代が多様な過ごし方ができる緑地とする
- 緑地内の回遊性向上  
芝生広場を中心に、周囲のエリアを整備することで、緑地内の回遊性の向上を図る



## 4. 改修方針(プロムナード舗装)



### ■ 舗装改修

#### 現況

- ・ 単調な空間が続き、間延びした移動空間となっている
- ・ 歩行者やランナーと滞留している人が混在している
- ・ 女神橋から臨港パークへの誘導が弱い

#### 整備の方向性

- 回遊性の向上 水際線を引き立て、歩きたくなる舗装を整備する  
女神橋まで連続させ、臨港パークの存在を顕在化させる
- 滞留空間の創出 既存の段差を活用して憩えるベンチを設置し、ゆったりと海を眺められる空間を創出する



【舗装材のコンセプト】 既存の舗装との調和を図り、維持管理性や経済性等を含めて検討する



# 4. 改修方針(ビュースポット・ロングベンチ)



## ■ ビュースポット・ロングベンチの設置

### 現況

- ・ 女神橋方面からの来訪者には、国立大ホールの先にある臨港パークが視認しづらい
- ・ 行き止まりの印象を与えている

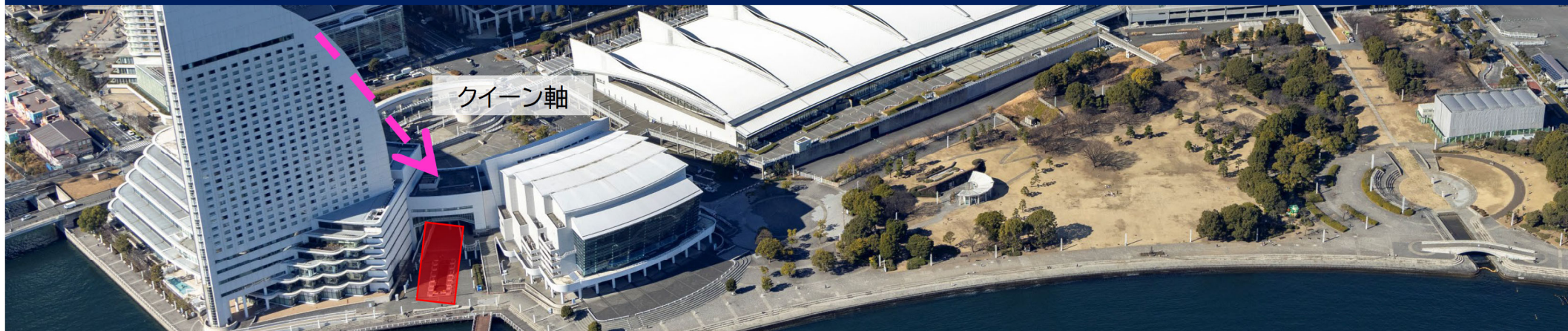


### 整備の方向性

- エリアのつながりの強化 視点場を整備することで、その先へ人々を誘うための仕掛けづくりをする
- 滞留空間の創出 既存スロープを生かしたロングベンチを設置し、ゆったりと海を眺められる空間を創出する



## 4. 改修方針(カスケード)



### ■ カスケードの改修

#### 現況

- ・ クイーン軸と水際線を結ぶ位置にあたるが、臨港パークの玄関口としては寂しい雰囲気となっている
- ・ バイブリッジやぶかりさん橋が見える場所であるが、ゆったりと眺められる滞在空間となっていない

#### 整備の方向性

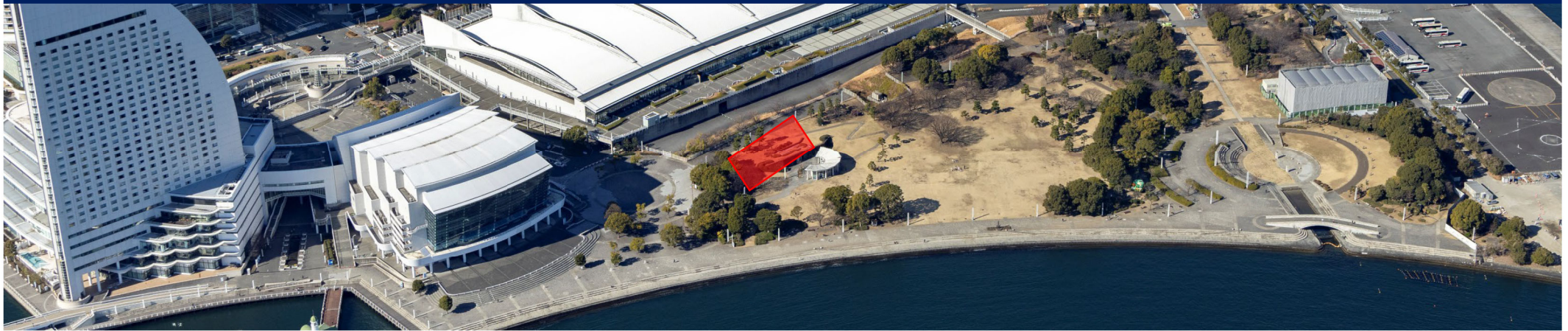
- 景観の向上
- 滞留空間の創出

ベンチや植栽を整備することで、カスケード周辺の景観を向上させ、明るく開放的な空間を整備する

既存の傾斜を活用し、多様な高さで居場所を創出することで居心地の良い空間を創出する



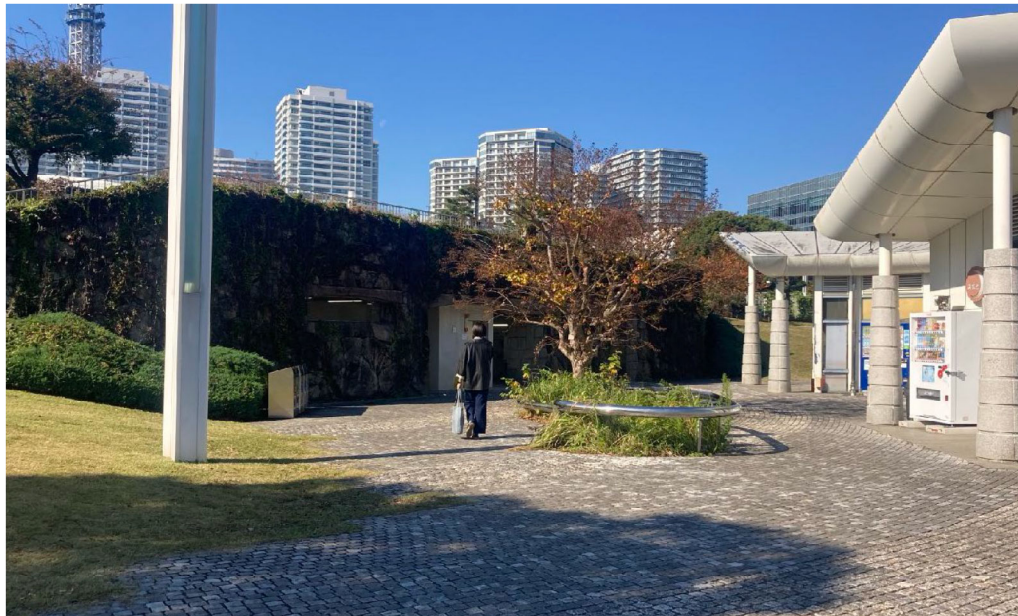
## 4. 改修方針(南口トイレ外構)



### ■ 南口トイレ外構の改修

現況

- ・ トイレ壁面に蔦が生い茂り、暗い印象となっている



整備の方向性

### ● 安全安心な環境

蔦を撤去し、元の石積みファザードを復活させるとともに低木の撤去、木陰ベンチの設置など、開放的な空間を創出し誰もが安心して利用できるトイレを整備する

